

ひずみ地震動記録から見た能登半島沖地震

The features of the 2007 Noto earthquake surmised by dynamic strain record

大久保 慎人 [1]

Makoto OKUBO[1]

[1] 東濃地震科研

[1] TRIES

<http://www.tries.jp/~okubo/>

2007年3月25日、能登半島沖で $M_j=6.9$ の地震が発生した。東濃地震科学研究所が岐阜県東濃地域に展開したボアホール地殻活動観測網でこの地震によるひずみ地震動を観測した。本研究では観測によって得られた、ひずみ地震動記録波形に大久保(2006)によるストリーミングひずみ解析法を適用し、解析を行った。

定常運用している解析の結果からは、右横ずれ成分を含む断層運動が20秒程度の破壊時間をかけて起こったことがわかっている。本発表では、さらに詳細な解析を進め、通常地震計を用いた観測・解析とは異なる手法によって得られる、地震学的知見について報告をおこなう。